

# 岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数 / 220 名 (2022.11.20 現在)

編 集 発 行 / 「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL : 090-2604-7918 FAX : 019-653-6447

郵便振替口座 / 02250-1-60580 E-mail / hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage (岩手ホスピスの会通信) http://hospice.sakura.ne.jp/

No. 70  
2023年1月

## 「がん治療中の症状に応じた食事の工夫」

～がん患者さんのための公開栄養講座開催～

7月23日盛岡市総合福祉センターで「がん患者さんのための公開栄養講座」を県立胆沢病院栄養サポートチーム専従管理栄養士・がん病態栄養専門管理栄養士の蛇口真理子さんを講師に開催しました。

15名の参加者と「がん治療中の症状に応じた食事の工夫」について一緒に考えました。

(12ページに新聞記事掲載)



がん患者さんのための公開栄養講座



## タオル帽子クリスマスプレゼント



今年も全国のがん診療連携拠点病院等にタオル帽子総数 2,500 個を発送しました。がん治療の主流である「抗がん剤」は、多くのがん患者さんの治療効果をあげていますが、抗がん剤の種類、投与の方法によっては、吐き気・虚脱感・「脱毛」等の副作用が出る場合があります、お送りしたタオル帽子で患者さんが少しでも笑顔になっていただけることを、ボランティア一同願っております。

### 送付先病院一覧

2022年12月(1施設50個程度) 病院 33施設 総数 2,500個

- 秋田県** 大曲厚生医療センター **岩手県** 岩手県立中央病院  
岩手県立二戸病院 岩手県立中部病院 孝仁病院 岩手医科大学  
附属病院 盛岡友愛病院 **福島県** 総合南東北病院
- 茨城県** 茨城県立中央病院 **神奈川県** 湘南宇鎌倉総合病院
- 愛知県** 豊橋市民病院 半田市立病院 一宮市立病院 名古屋  
医療センター 岡崎市民病院 **長野県** 飯田市立病院
- 三重県** 鈴鹿中央総合病院 **石川県** 金沢医科大学病院
- 岐阜県** 高山赤十字病院 **滋賀県** 市立長浜病院
- 京都府** 京都大学医学部附属病院 **大阪府** 東大阪医療センター **広島県** 広島大学病院  
広島市民病院 福山市民病院 安佐市民病院 **山口県** 山口県立総合医療センター 周東総合病院
- 愛媛県** 愛媛中央病院 **佐賀県** 唐津赤十字病院 **大分県** 大分大学医学部附属病院
- 熊本県** 熊本赤十字病院 **鹿児島県** 鹿児島医療センター



全国に発送するタオル帽子

# あんしん生命様より タオル帽子が寄贈されました

12月9日、東京海上日動あんしん生命様から当会にがん患者さんのためのタオル帽子約900個が寄贈され、原健東北営業部長より当会に目録が手渡されました。この帽子は同社社員の方々が手作りしたものです。当会のタオル帽子活動に2009年からご協力いただいているあんしん生命様にあらためて深く御礼を申し上げます。帽子は岩手県内6カ所の病院を始め全国で闘病する患者さんのものに届けられます。

(12ページに新聞記事掲載)



## 「がんの痛みは正しい知識で取る」 ～痛みで困っていませんか～

### 市民向けシンポジウム参加レポート

11月19日、盛岡市で厚労省主催の市民向けシンポジウムが開かれました。講師は青森県立中央病院副院長・的場元弘先生他3名です。

7～8割のがん患者さんが痛みを経験するそうです。がんの痛みを取る薬には「医療用麻薬」があります。麻薬は中毒になるとか命を縮めると誤解している方がいますが、「医療用麻薬」は怖い薬ではありません。早いうちから正しく使い、強い痛みを取ることでご本人の生活の質が向上し保たれます。

まずは医師にご自身の言葉で痛みや困っていることを伝えましょう。メモでも良いです。言わないと医師はわかりません。患者さんの訴えから初めて痛みの治療が始まります。痛みを我慢したり自己判断をせずに担当医師や医療者に相談しましょう。

日本が先進国として「医療用麻薬」を一番使っていないそうです。担当医師と一緒に正しく使ってがんの痛みから開放され、がんの治療を続けながら仕事を継続したり普通の日常生活を取り戻していきたいものです。



## 認定 NPO 法人 モルヒネ友の会

『がんでない痛みをモルヒネでコントロールしている患者の会』があります。がんでない痛みには脊柱管狭窄症・帯状疱疹・リウマチ・ギランバレー症候群、様々な手術後の痛み等々がある、ということです。

この法人は「痛み治療のためモルヒネを長期間服用しても、依存や異常行動が起こらないことを患者自身が示し、モルヒネに対する世間の誤解や偏見等を払拭する活動をする。そして、正しい痛み治療とモルヒネの安全性を普及し、痛みを苦しむすべての人のクオリティ・オブ・ライフの向上に寄与する。」ことを目的としています。がん以外にも様々な痛みを苦しんでいる方々が少しでも痛みを緩和できるように大変重要な活動を行って

いる患者会だということを知りました。

当会も緩和ケアの推進を願う患者会であり、今後様々な形で少しでも情報交換、連携を図っていくことができれば幸いです。詳しい内容を知りたい方はインターネットで検索してみてください。



モルヒネ友の会

〒992-0045 山形県米沢市中央6丁目1番219号 三友堂病院地域緩和ケアサポートセンター内  
モルヒネ友の会 TEL 0238-24-8355 FAX 0238-24-3727 E-mail: moruhinetomonokai0@nailo.com  
診療中は電話に出られません。FAX または郵便やメールのご利用をお願いします。

# 第 30 回岩手県がん対策推進協議会レポート



令和4年度第1回岩手県がん対策推進協議会は11月14日岩手県公会堂で開催され、第4期がん対策推進基本計画及び第4次岩手県がん対策推進計画の策定に向けた関係団体の取り組み状況について県担当課から報告がありました。同協議会公募委員である盛岡かたくりの会、中里るみ委員、当会から以下の通り質問や意見が出されました。県、対がん協会からの回答は→の通りです。

## ① 盛岡かたくりの会・及川正彦委員

1. 岩手県の実施するピアサポーター養成事業の拡充、強化
2. がん患者団体が行うピアサポーター養成への助成
3. がんピアサポーターの啓発

—以上の項目について県の協力、支援を要望します。

→岩手県医療政策室回答：岩手県のがん計画と国の基本計画で、ピアサポーター養成を掲げておりますが、なかなか進んでおらず、今後医療機関や患者会と相談しながら進めていきたい。

## ② 中里るみ委員：現在抗がん剤治療中です。乳がんになり患しましたが検診では発見されませんでした。有料でもよいのでもっと精度の高い検診を行っていただきたいです。また、医療者によって検診の対応にずいぶん差があります。医療従事者の質の向上をしていただきたいです。また、コロナ禍で女性の検診・受診率が下がっている印象があります。

→対がん協会回答：乳がん検診では1方向からではなく2方向から診断し、超音波検査を追加すれば精度は上がるが予算確保が難しい。各市町村にお願いして、2方向だけでもレントゲンで1枚とっていただいて、乳がんの発見率向上を目指しております。ご提言通り職員（医療者）の教育による改善を目指したい。

## ③ 岩手ホスピスの会

※「緩和ケア」分野の見直しとして、拠点病院以外の医療機関における緩和ケアの充実のため、実態や課題等について把握を行うこととしてはどうか—という意見が国のがん対策推進協議会で出されました。岩手の県土は広く、沿岸部、内陸山間部などではがん診療連携拠点病院もなく、多くの場合患者は拠点病院以外の一般病院等も利用することになります。岩手でも拠点病院以外の医療機関における緩和ケア充実のため、今後その実態や課題把握が必要ではないでしょうか。

※同協議会ではアピアランスケア（治療によって変化した外見のケア）の充実のため、拠点病院等を中心としたアピアランスケアに係る相談支援・情報提供体制の構築に向けた検討を進めることとしてはどうか—という意見も出されました。アピアランスケア研修会参加修了者が岩手では15名、と全国平均と比較して少ないです。

ぜひ岩手でも人材育成を進めていただき、有資格者を増やして他の拠点病院でも対応していただきたいと思えます。

→岩手県医療政策室回答：国の動向を見極めながら検討していきたい。

# 岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2022年6月～2022年11月)



当会のタオル帽子を受け取ったがん診療連携拠点病院から寄せられたメッセージをご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで107,500個に上っています。今日もどこかでタオル帽子の活動に思いを寄せている方がいます。帽子を作るボランティアの皆さんに深くお礼申し上げます。

＊初めてお便りします。話には聞いたことがありましたが本物を手に取り感動しました。本当に心のコもった帽子。さっそく友人に贈りたいと思います。喜んでくれるといいなと思いつつ。早い送付に改めて感謝いたします。(長崎県)

＊初めまして。私は7月から入院しています。去年の8月から大阪で抗がん剤治療を受け、その時から髪が抜けて、最近ようやく生えてきました。まだ1cmも伸びていません。私は60代でネットも使えないので、病院のコンビニで3000円位払って無地の色違いを6色買っていたので、こちらの病院でボランティアの方々にいただくと知り2枚可愛い素敵な帽子をいただきました。私はずっと柄の帽子が欲しくて、タオル地で肌触りが気持ち良くとっても嬉しいです。ステキな贈り物、皆様に感謝です。(京都府)



## フェイスタオルご寄付のお願い

皆様にお願ひがあります。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルがとても不足しております。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひご協力をお願いいたします。

〈送付先〉 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛

## タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。申し込み方法：はがきかメールで。

※メールアドレス：[hospice@eins.rnac.ne.jp](mailto:hospice@eins.rnac.ne.jp)

はがき：〒031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

## これからのタオル帽子講習会・サロン日程

2月12日(日)：タオル帽子講習会・サロン

3月11日(土)：タオル帽子講習会・サロン

4月8日(土)：タオル帽子講習会・サロン

●場所：盛岡市総合福祉センター

●開催時間：午後1時30分から

●問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願ひます。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。



# 岩手のがん相談支援センター

岩手県立久慈病院 地域医療福祉連携室  
医療社会事業士 菅原 拓也

「がん相談支援センター」は、全国のがん診療連携拠点病院などに設置されている相談窓口です。

当院では4階化学療法室の隣に設置しており、研修を修了した専任のスタッフ（看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士）が、がんの治療や療養に際して生じる不安や困りごとについてのご相談に応じています。

ご相談は無料で行うことができ、プライバシーや秘密は厳守致します。

当院に入院・通院されている患者さんやご家族はもちろん、当院に通院されていない方や匿名のご相談もお受けしております。

また、直接お会いしてのご相談だけでなく、電話でのご相談も対応しております。

がんと診断された直後は、治療のことだけではなく、医療費・生活費といった経済的なこと、仕事や育児をどうするか、緩和ケアについてなど、様々な問題や不安が出てくるものです。

また、「こんなことを聞いてもよいのだろうか…」と思うようなことが、実はその方の今後の治療や生活を考える上で、とても大切なことだったりします。

ぼんやりとした不安でも構いませんので、がん相談支援センターへご相談ください。

ご相談内容が医師・看護師、その他の職種や、地域の関係機関との連携を要する場合には、ご了承を得た上での対応をさせて頂き、問題や不安が少しでも解決・軽減できるよう、一緒に考え、情報収集・提供をさせていただきます。

当院のがん相談支援センターには、がんに関連する各種パンフレットや書籍も数多く取りそろえております。パンフレットにつきましてはご自由にお持ち帰り頂いても構いません。

おひとりで悩まずに、どうぞご遠慮なくお声がけ・ご相談ください。



## お問い合わせ先

岩手県立久慈病院 がん相談支援センター（医療相談室内） 住所：岩手県久慈市旭町第10地割1番  
電話：0194-53-6131

対応日時：原則、月～金曜日 9:00～17:00 相談内容により、適切な担当相談員に予約致します。

ご利用方法：直接お越し頂くか、近くの職員にお申出ください。電話でのご相談、予約も承ります。

## タオルとタオル帽子のご寄付をいただきました。

内野株式会社様、東京海上日動あんしん生命様、第一生命盛岡支社様、紫波町コスモスの会様、川上塗装工業様等、その他全国のがん診療連携拠点病院等並びに多くの個人の方々からタオル、タオル帽子のご寄付をいただきました。深く御礼申し上げます。患者さんのために大切に活用させていただきます。



# 岩手県内各ホスピス現況

(岩手ホスピスの会調べ 詳細は)

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	盛岡友愛病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	盛岡市永井 12-10
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338	019-638-2222 (代表) 医療相談室 緩和ケア担当 内線 185
病 床 数	10 床	22 床 (全室個室)	18 床
ベ ッ ド	無料個室 8 床 有料個室 2 床	無料 12 室 有料 10 室	個室 10 床のうち 9 床が有料 4 床室無料
ベ ッ ド 料	1 日 3,300 円	1 日 5,500 円・11,000 円	1 日 5,500 円
看 護 師 数	16 名 + 看護補助者 1 名	21 名 + 看護補助者 2 名	16 名 + 看護補助者 4 名
ホスピス医	米山幸宏	畠山元、旭博史	藤井祐次
看 護 師 長	栗木真由美	木下香代子	上山志鈴江
入 院 審 査 を 受 け る に は	地域連携室にご相談ください。 月～水・金・土曜 9:00～17:00 木曜 9:00～12:30	緩和ケア相談室へお問い合わせ ください。 月～金曜 9:00～16:00	医療相談室まで。 019-638-2222 (代表) 月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30 (第 2・4 土曜は不可)
審 査 日	随時	随時	随時
ホスピス入院 平均待機者数	0～3 名	0	0～2 名
ホスピス入院 平均待機期間	状況により数日～2 週間 重症者優先	外来受診後、平均 5 日	状況により数日～1 週間 (患者さんの 意向を確認後、一般病棟で対応する 場合があります)
利 用 者 内 訳	盛岡市周辺がほとんど (8 割以上)	盛岡市周辺の方がほとんど	盛岡市周辺の方がほとんど
緩和ケア外来	診察日: 月～水・金 8:30～16:30 要予約 木・土 8:30～11:30 要予約 担当医: 米山幸宏	診察日: 火・水・木 14:30～16:00 要予約 担当医: 畠山元、旭博史	診察日: 水・木・金 (AM・PM) 要予約 担当医: 藤井祐次
ホスピスボ ランティアの 人 数 と 活 動	登録者 6 名 ※感染拡大防止のため休止中	病院ボランティア登録者 25 名。 うち 23 名がホスピスで活動。 ※現在、コロナの影響のため 休止中	年 1 回程度イベント時活動 ※現在、コロナの影響のため 休止中
遺 族 会 の 名 称 と 連 絡 先	名称: ひだまりの会 年 2 回開催 連絡先: 緩和ケア病棟 栗木 ※感染拡大防止のため休止中	ハナミズキの会 緩和ケア病棟 年 1 回開催 ※現在、コロナの影響のため 休止中	設置未定
入 院 料	定額制 (3 段階…診療報酬上の緩和ケア病 棟入院料に準じます) 保険適用	定額制です。 入院日数によって 3 段階での算定 です。	定額制。入院期間により 3 段階。患 者さんの自己負担額は加入している 保険等により異なる。 各種医療保険適用、医療費の他に食 事代別途徴収。
ペットの同伴	面会可能。宿泊不可。要相談。	面会は可能。宿泊や飼育は不可	面会のみ可能。条件あり。 要申請。
麻 酔 医 と 連 携	必要時可能	硬膜外ブロックなどを行う場合など に連携あり。	なし

(2022年11月現在)

各病院に直接お問合せ下さい

岩手医科大学附属病院 緩和ケア病棟	岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
紫波郡矢巾町医大通2丁目1番1号	一関市狐禅寺字大平17番地	北上市村崎野17地割10番地	奥州市水沢羽田町字水無沢495-2
019-613-7111(代表) 緩和ケアセンター 内線3223	0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
25床	24床(個室20、2床室2)	24床(個室18、2床室3)	20床(全室個室)
無料個室17床 有料個室8床	無料17床 有料7床	有料個室10床、無料室14床	無料20室
1日18,700～25,300円	1日3,190～6,490円	1日3,300～13,420円	無料
25名+看護補助者1名	18名+看護補助者1名	21名+補助3名	17名+ケースワーカー1名+看護補助者5名
木村祐輔、鴻巣正史、中村清華	平野拓司	星野彰、綿引奈苗、齊藤秀典	及川司
竹内可愛	田頭浩子	菊池恵美子	小林洋子
緩和ケアセンターに 相談ください。 019-613-7111 内線3223 月～金曜 8:30～17:00	0191-23-3452(入院相談等) がん相談支援センター 相談時間:平日8:30～17:15	0197-71-1511(入院相談他) がん相談支援室 相談時間:平日9:00～16:00	入院相談(担当:ケースワーカー) 後面談 入退院検討会(医師、薬剤師、 栄養士、看護師、理学療法士 で構成)
随時	随時	随時	随時(その後ベッドが空くまで待機)
0～3名	0	3～4名	0
状況により数日～1週間程度	数日(緊急対応可)	待機期間は同院一般病棟や 近隣の病院、連携のとれている 訪問診療で対応	0
盛岡市周辺の方が多い	一関市周辺や宮城県北の方が ほとんど	花巻北上周辺の方が8割以上 その他は奥州、盛岡等	奥州市周辺の方がほとんど
診察日:月～金、要予約 担当医: 木村祐輔、鴻巣正史	診察日:月～金、要予約 担当医:平野拓司	診察日:月～金の午前、 要予約 担当医:星野彰	診察日:水(午前中) 要予約 担当医:及川司
実績無し 活動検討中	ボランティアコーディネーター 1名、ボランティア12名 活動:ティータイム、季節の行事、 がん患者サロン(こころば)	登録者39名。 活動内容:お茶会・歌っこの会・ アロマ・生け花・季節のイベント 企画(コロナ禍にて、現在活動 は生け花とイベントの一部のみ)	現在登録者5名で活動中。 ホスピスボランティアを 随時募集中
設置未定	偲ぶ会(連絡先:緩和ケア病棟) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ 年1回開催	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ 年1回開催(令和2、3年度は中止)	<small>しちせき</small> 七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ これまでに7回開催
定額制 (診療報酬上の緩和ケア病棟 入院料に準じて入院期間により 3段階) 保険適応	定額制(入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算 や有料個室の料金等は別途追 加になります。	定額制(入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算 や有料個室の料金等は別途追 加になります。	定額制 3段階になります。
面会のみ可能。宿泊不可。 条件有。要申請	要申請。ケージに入る小型犬が 望ましい。大型犬は要相談。	面会可能。宿泊可 (コロナ禍のため人数制限あり)	面会可能(現在はリモート面会 のみ。状態を見ながら必要時面 会しています)。宿泊不可
必要時可能	なし	院内ペインクリニックと連携	なし

# がん患者さんのための栄養講座 パート 29

岩手県立胆沢病院 がん病態栄養専門管理栄養士 蛇口 真理子



寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。  
今回は、食事量が摂れない時の栄養ケアである「ONS」の紹介をします。

## 問 ONS って何？

ONSとは「経口的栄養補助」のことで、英文では Oral Nutrition Supplements といい、頭文字をとって ONS と呼んでいます。普段の食事に加えて、栄養剤（濃厚流動食）を飲むことで不足分の栄養を補おうというものです。栄養剤は体に必要な栄養素（糖質・蛋白質・脂質・ビタミン・ミネラル）をバランスよく含んでおり、食事量が少ない時に栄養剤を飲むことで、栄養不足の予防になります。

## ○どんないいことがあるの？

栄養不足が続くと、疲れやすくなり、家で座ってテレビを見ている又は寝ている時間が増え活動量が低下します。動かないからお腹も空かず、食べる量がさらに少なくなってしまうという経験がある方もいると思います。栄養が入ることで、体を動かすことが楽になり、買い物や散歩といった活動を行いやすくなります。

## ○どうやって手に入れるの？

栄養剤には「医師から処方されるもの」と「薬局などで購入できるもの」があります。

それぞれのメリットとしては、医師から処方されるものは保険適応があるので金銭的な負担は軽減されます。薬局などで購入できるものは、化学療法や術後で食事量が一時的に減って心配というときに自分や家族が手軽に購入できることです。

## ○どんなものがあるの？



## ○味は？

各種で、コーヒー、いちご味など色々出しています。医療用の場合は医師や薬剤師に好みの味を相談しましょう。甘味が苦手という方は、ヨーグルト味は酸味があり飲みやすかったと聞いたこともあります。いろいろ試して合う味を見つけてみましょう。

## ○飲み方は？

栄養剤は濃度が濃いので一気に飲むと下痢をすることもあります。ゆっくりちびちびのむとよいです。この時に気を付けてほしいことが口をつけた容器で数日かけて飲むことは控えましょう。容器の中で細菌が増え、食中毒の要因になるので、飲む分をカップにあけ、残った分は冷蔵庫で保管しましょう。できれば1日で飲み切ることがよいです。

参考文献：認定 NPO 法人 キャンサーネットジャパン「もっと知ってほしいがんと生活のこと」

# \*\*\*\*\* 岩手ホスピスの会活動日誌 \*\*\*\*\*

2022年6月～12月

6月11日	第6回役員会、タオル帽子サロン・講習会、 がんの痛みに関する映像制作・患者へのインタビュー	(盛岡市総合福祉センター、28名)
6月18日	ホスピス通信 69号発送作業	(盛岡市総合福祉センター、6名)
7月9日	第7回役員会、タオル帽子サロン・講習会、がんの痛みに関する映像制作	(盛岡市総合福祉センター、25名)
7月23日	第10回がん患者さんのための栄養講座、 がんの痛みに関する映像制作・家族へのインタビュー	(盛岡市総合福祉センター、25名)
7月24日	タオル帽子倉庫作業	(盛岡市タオル帽子倉庫、8名)
7月28日	がんの痛みに関する映像制作・医師へのインタビュー	(盛岡市総合福祉センター、4名)
8月6日	第8回役員会、タオル帽子サロン・講習会、高校生ボランティアスクール 「がん患者さんのためのタオル帽子づくり」	(盛岡市総合福祉センター、30名)
8月13日	令和3年度岩手ホスピスの会がん対策への取り組み実績を医療政策室に送付	(1名)
9月1日	日総研出版雑誌「地域連携」に「患者・家族のエンド・オブ・ライフケア」記事原稿送付	
9月24日	第9回役員会、タオル帽子サロン・講習会	(盛岡市総合福祉センター、25名)
10月8日	タオル帽子サロン・講習会	(盛岡市総合福祉センター、27名)
11月5日	第10回役員会、タオル帽子サロン・講習会	(盛岡市総合福祉センター、25名)
11月14日	第30回がん対策推進協議会参加	(盛岡市内、2名)
11月19日	「がんの痛みは正しい知識で取る」市民向けシンポジウム参加	(盛岡市内、1名)
12月9日	東京海上日動あんしん生命タオル帽子寄贈式	(盛岡市総合福祉センター、11名)
12月10日	タオル帽子サロン・講習会	(盛岡市総合福祉センター、18名)
12月11日	第11回役員会	(盛岡市総合福祉センター、7名)
12月19日	「がん患者の話を聞き、自らの健康や命の大切さに気付く」をテーマに 山王小学校5年生に向け講演	(山王小学校、25名)
12月26日	岩手県立盛岡第二高等学校タオル帽子講習会	(盛岡市内、39名)



## 「岩手ホスピスの会」がん相談窓口



開設日	毎月第2土曜日 午後1時30分～4時(月により変更あり。要問合せ) 相談無料
場所	盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子サロン会場(月により変更あり)
内容	電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場に来院して頂き対応 ※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。
問合せ	<b>岩手ホスピスの会 090-2604-7918</b>

# 緩和ケアにおける病院と 在宅医療の連携・協働について

ホームケアクリニックえん 院長 千葉 恭一

当院は北上にある機能強化型在宅療養支援診療所です。

北上市は人口約 93000 人、在宅療養支援診療所は 8 カ所、訪問看護ステーションは 9 カ所あります。

病院は県立中部病院、北上済生会病院と花北病院（精神科）があり、緩和ケア病棟は 18 床、療養型病床はありません。

この地域では昔から、病院と在宅・施設での連携が進められてきました。

北上市の死亡場所ですが、病院 61%、自宅 20%、施設 20% と地域看取り率が約 40% と全国の 22% と比べて高率となっています。

中部地域には、『いわて中部ネット』という、医療介護福祉のための情報共有システムがあります。

北上済生会病院には開放病床があり、地域の開業医と病院医師が連携しながら、重度な患者さんのレスパイト入院を含めた対応をしています。

医師会では在宅医の 24 時間体制を支援するための待機支援事業を、北上市では「幸せに歳をかさねるための心づもり勉強会」を立ち上げ、市民啓蒙に取り組んでいます。

在宅医療介護連携拠点「在宅きたかみ」は、各病院の副院長、医師会副会長、市役所職員が推進委員となり、地域の在宅医療・緩和ケア・介護の連携を図るための取り組みを行っています。

つまり、住民・行政・医療介護福祉専門職が共通目標をかかげ様々な取り組みを行っています。

緩和ケアにおける地域連携において、1. 希望する療養場所が選択できること（意思決定支援）、2. 病院・在宅・施設など場所によらず、地域全体で共通した緩和ケアを行うこと、そのための、まとめ役（コーディネーター）の育成を行っていくこと。3. 必要時に入院できる体制（レスパイトも含めて）、が重要であると考え取り組んでいます。

ホスピスケアは、場所や疾患、状態にかかわらず、「全人的に患者さんをケアする」という考え方は、これからも、皆さんが望んだ場所で最後の時まで自分らしく過ごせるように連携・協働して取り組んでいきたいと考えています。



## ホームケアクリニックえん

〒024-0031 岩手県北上市青柳町二丁目5-15 TEL: 0197-61-5160

【診療時間】月～金：9：00～18：00／土：9：00～12：00

【休日】土曜日午後、日曜日、祝祭日、お盆・年末年始休暇

# タオル帽子で支え合い

## 高校生ボランティアスクール

### 不慣れな裁縫に達成感

2022年度高校生ボランティアスクール（盛岡市社会福祉協議会主催）の現地活動の一環で、「がん患者のためのタオル帽子づくり」が6日、同市若園町の市総合福祉センターで行われた。7月30日の座学を受けた高校生5人が参加し、がん患者に寄り添いサポートするボランティア団体「岩手ホスピス」の会（川守田裕司代表）に教わりながら、角帽を作った。

川守田代表（65）は「高校生に対して胸の日本人の2人に1人ががんの患者に、3人に1人ががんを亡くしていることをあいさつやがんなどの病気を考えるきっかけになれば」と話した。タオル帽子づくりの状況は「自分も経験があるから、タオル帽子づくりの状況は、互いに支え合おうという気持ちで、縫う楽しみや達成感を感じてほしい」と話した。

岩手高の筑後裕日さん（3年）は「裁縫は普段やらないため難しかったが、やっていくうちにたんと楽しくなってきた。達成感がある」と声を弾ませた。

盛岡二高の柚澤友梨さん（3年）は「布の厚いところを縫うのがちょっと難しかった。座学を含め、知らない人との交流が大変だったが、楽しかった」と笑みを浮かべた。

同協議会地域福祉課の佐々木裕美主任は「がん患者のことは、学校では学ばないこと。岩手ホスピスの会の活動を通して、ボランティアにもいろいろな種類があることを知ってほしい」と思いを語った。

同団体は2008年から、がん患者やその家族を支援するためタオル帽子活動を開始。毎月第2土曜日に同センターで、タオル帽子サロンを開き、帽子製作を行っている。タオルでできているため、肌触りが良く汗も吸収するのがタオル帽子の魅力という。



岩手ホスピスの会の人らに教わりながらタオル帽子を作製する高校生

岩手高の筑後裕日さん（3年）は「裁縫は普段やらないため難しかったが、やっていくうちにたんと楽しくなってきた。達成感がある」と声を弾ませた。

盛岡二高の柚澤友梨さん（3年）は「布の厚いところを縫うのがちょっと難しかった。座学を含め、知らない人との交流が大変だったが、楽しかった」と笑みを浮かべた。

同協議会地域福祉課の佐々木裕美主任は「がん患者のことは、学校では学ばないこと。岩手ホスピスの会の活動を通して、ボランティアにもいろいろな種類があることを知ってほしい」と思いを語った。

盛岡タイムス 2022年8月11日掲載

## 諏訪

# タオル帽子 こどもも病院に

原村の有志 手作りで



発送前にタオル帽子を検品する菅原さん（右）

## 抗がん剤の副作用に悩む子たちへ

原村の住民有志でつくる「タオル帽子サロン原村支部」が15日、抗がん剤の副作用で脱毛に悩むがん患者がかかるタオル生地（タオル）を県立こども病院（安曇野市）に発送した。昨年8月の会発足以来、会員が作っており、提供は初めて。入院している子どもたちへの応援のメッセージを書いたカードも添えた。

支部が病院側に打診して提供が決まった。大人用のタオル帽子を作っていたが、子ども用の試作品を病院に送り、大きさを調整して型紙を作り手縫いで仕上げた。子ども用17個、中学生から上の世代が使う大人用7個を贈った。

この日は活動拠点の村民交流施設「おいでなして原宿」に支部代表で原村中学校教諭の菅原亜美さん（24）や、活動に協力する原村更生保護女性会の会員ら5人が集まり、縫い目などに問題がないか一つずつ検品した。

菅原さんは岩手県内の高校に通っていた頃、タオル帽子を考案した市民団体「岩手ホスピス」の会（盛岡市）に学校で集めたタオルを贈る活動に協力。その経験から村内でタオル帽子の作り方を教える活動を始めた。

菅原さんは「一緒に活動してくれた会員のみなさんに感謝したい」。会員の小池さくら子さん（7）は「帽子をかぶって気分よく過ごしてくれたらうれしい」と話した。

講演する県立胆沢病院の蛇口真理子さん



### がん患者のための栄養講座

がん患者や家族をサポートする「岩手ホスピスの会」（川守田裕司代表、5月28日現在の会員数221人）は28日、「がん患者さんのための栄養講座」を盛岡市若園町の市総合福祉センターで開いた。県立胆沢病院栄養管理科・がん病態栄養専門管理栄養士の蛇口真理子さん（44）が、がん治療中の症状に応じた食事の工夫について講演した。

同会員や一般市民約100人が参加した。蛇口さんは、「治療中は、がん治療の化学療法・放射線治療が、ない工夫が必要と、患者の栄養状態に影響を及ぼす症状を解説。イスした。

## 県立胆沢病院の蛇口さん講演

## 脱水への注意喚起も

吐き気があるときは、食事のボリュームを減らす。食事に十分な水分を摂る。水分不足は脱水の原因となり、免疫力を低下させる。脱水を防ぐには、こまめに水分を摂ることが大切。脱水を防ぐには、こまめに水分を摂ることが大切。脱水を防ぐには、こまめに水分を摂ることが大切。

脱水を防ぐには、こまめに水分を摂ることが大切。脱水を防ぐには、こまめに水分を摂ることが大切。脱水を防ぐには、こまめに水分を摂ることが大切。

# 症状に応じた食事の工夫を

## がん患者のためのタオル帽子を寄贈

岩手ホスピスの会に東京海上日動あんしん生命  
クリスマスプレゼントとして全国の拠点病院へ



東京海上日動あんしん生命は9日、がんの治療を受けている患者のために、タオル帽子867個と材料のタオル590枚を、帽子製作・発送に長年取り組んでいる「岩手ホスピスの会」（川守田裕司代表）に贈った。同会は、自分たちが作った帽子と合わせて25000個の帽子を、クリスマスプレゼントとして、全国のがん診療連携拠点病院33カ所に送る。同会のタオル帽子の製作活動は、2008年6月にスタートし、毎月第2土曜日に行われる。毎月第2土曜日に行われる。毎月第2土曜日に行われる。

盛岡タイムス  
2022年12月10日掲載

**アンテナ**

**タオル帽子と届ける真心**

東京海上日動あんしん生命保険から手作りのタオル帽子を寄贈された岩手ホスピスの会。14年目を迎えた取り組みに、吉島美樹子事務局長「写真」は「年々クオリティーが上がっている」と目を見張る。全国のがん診療連携拠点病院に発送予定で「作り手の思いが伝わるアイテム。闘病生活を前向きに過ごしてほしい」と願う。

岩手日報 2022年12月19日掲載

盛岡タイムス 2022年7月27日掲載

## 新年度継続とご支援のお願い

(年会費は一口2,000円です)

皆様からのあたたかなご寄付、ご支援をいつもありがとうございます。岩手ホスピスの会が、がん患者さんやご家族に寄り添い活動できる支えは、皆様のご支援によるものです。今後も安定した活動を継続するため、ご理解とご支援をお願いいたします。

2023年度年会費（2023年1月～2023年12月分）は、振込用紙に住所、氏名を明記の上郵便局にてお振込みをお願いいたします。

ご住所の変更があった方はご連絡をお願いします。

年会費：2,000円（複数口可） 郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会